

企業を伸ばす 地域を活かす 2

〈板橋区編〉

⑩

長期的な視野で投資先企業を支援

板橋区は東京23区内でも有数のものづくりが盛んな地域です。もともと板橋区には、オランダからの技術を導入した火薬製造技術所が置かれたことから軍需産業を中心に製造業が発展してきました。それが戦後、平和産業への大転換を図り、光学機器や精密機器などの製造業が地場産業として根付いている地域です。当社の投資先企業には、樹脂製ベアリングのパイオニアでワンウェイクラッチやロータリーダンパーを始めとする画期的な製品を手がけるTOK（板橋区小豆沢）などがあります。

TOKには46年前に投資を行い、株主という身内の立場で歴代の社長を支援してきました。吉川圭社長がアメリカの現地法人の立ち上げに奔走されていた頃には、「現地に進出している企業に、立地や雇用環境などについてお話を聞きたい」というご要望いただきました。この

ご相談には、アメリカに進出し成功されている先輩投資先企業を紹介し、苦労話を含めて生の情報をご提供しました。

当社では、法律、知財、人事などについて専門家無料相談サービスを提供しており、海外関連の無料相談サービスも充実しています。TOKには、現地法人に駐在員を派遣する際のビザの問題や、現地の労働者を雇用した場合の賃金相場や税務などについてもご相談いただき、この専門家無料相談サービスを活用いただきました。

また、自動車やプラント、水道関連分野に、曲げ伸ばしが自由な金属管を製造販売する昭和螺旋管製作所（板橋区小豆沢）には、今後の経営承継支援の一環として、当社開催の「次世代経営者ビジネススクール」をご紹介し、ご活用いただいています。本研修は、毎月1回（2日間）、計10回のカリキュラムで構成さ

れ、文字通り、次世代を担う経営者や幹部のための研修です。過去15回に亘り、約350名の卒業生を輩出してきましたが、毎回25名程の多種多様な業種の経営幹部候補が集い、座学のみならず、ディスカッションや投資先企業の経営者講話などを織り交ぜた研修を受講いただくことで、経営者としての能力や意識を高め、更に参加者同士の貴重なネットワークづくりの場としてご活用いただいております。本研修のみならず、資本政策等の相談にも乗りつつ、昭和螺旋管製作所の更なる成長発展を支援していきたいと思っています。

当社の最大の強みは、長期安定株主として、永きにわたって支援を行えるところにあります。海外進出支援など、投資先企業の歴史の1ページに関わっているという自負を持ちながら、投資先企業の成長に役立ちたいです。



東京中小企業投資育成 業務第2部
部長代理

江場教智さん (32歳)

1985年5月愛知県生まれ
2009年3月慶應義塾大学 商学部卒業
2009年4月東京中小企業投資育成入社
業務第1部（港区担当）に配属
2014年4月ビジネスサポート部に配属
2016年4月業務第2部（東京都板橋区担当）
に配属され、現在に至る